

【プレスリリース】

「アメリカで学ぶ、東北復興へのヒント」

東北被災地の学生による米国訪問：

ハリケーン・カトリーナや米国同時多発テロの爪痕から復興を学ぶ。

2012年7月

一般財団法人教育支援グローバル基金

一般財団法人教育支援グローバル基金は（東京・渋谷）は、東北被災地を対象としたリーダーシップ支援事業「ビヨンドトゥモロー」の一環として、TOMODACHI イニシアチブとのパートナーシップの下、「TOMODACHI サマー2012 ビヨンドトゥモロー 米国プログラム～復興とまちづくり～」を2012年夏に開催致します。米国各地（ニューオーリンズ、ニューヨーク、ボストン、ワシントンD.C.）を巡る2週間のプログラムにおいて、東北出身の学生たちは、米国の災害後の復興やまちづくりの経験を学ぶだけでなく、東北からの大使として米国の人々に彼らの東日本大震災での経験を伝える役目を果たします。リーダーシップを発揮した経験を持ち、東北の未来のリーダーとなる熱意を持った10名の学生が、厳しい選考を通過し、本プログラムに参加します。

◆「TOMODACHI サマー2012 ビヨンドトゥモロー 米国プログラム～復興とまちづくり～」 概要◆

参加者： 東日本大震災の際に岩手・宮城・福島のいずれかに居住しており、2012年3月に高等学校を卒業し新たに進学した者10名。親や家を失うという辛い体験を乗り越え、広く世界のため、社会のために活躍する志を持つ学生を、厳正な書類選考によって選抜。

内容： 2週間に渡る米国滞在を通し、2001年9月11日の米国同時多発テロ事件や2005年8月に発生したハリケーン・カトリーナ被害からの復興における経験と課題を検証し、東北復興へのヒントを得る。また、アメリカの人々や文化に触れ、東北の状況について知ってもらうことで東北発の日米リーダーシップ交流のモデルを構築する。

(訪問都市)

8月7日～10日	ニューオーリンズ（ルイジアナ州）	ハリケーンカトリーナ後の復興活動を率いた団体や個人を訪問
8月10日～16日	ニューヨーク（ニューヨーク州）	米国同時多発テロ後の諸問題に対応した団体や個人を訪問

8月16日～19日	ボストン（マサチューセッツ州）	学問都市ボストンにて、アメリカ人学生との交流や研究者訪問
8月19日～21日	ワシントンDC	日米両国を代表し、各界で活躍するリーダーを前に、米国での学びを発表

◆プログラムの詳細は別紙の通りです◆

◆ご取材のご案内◆

報道各社の皆さまには、プログラムについてご取材いただくことが出来ます。8月6日午後、学生たちが東京で出国前に集まり、米国に旅立つ前に抱負を語ります。ご希望の方は、下記連絡先までお問い合わせ下さい。

◆ビヨンドトゥモローとは◆



ビヨンドトゥモローは、東日本大震災における震災孤児や震災遺児をはじめとした被災児童に対して次世代を担うリーダーやスペシャリストとなる人材となるための支援プログラムを提供する教育支援事業です（運営：一般財団法人 教育支援グローバル基金）。

ウェブサイト：<http://www.beyond-tomorrow.org>

◆TOMODACHI とは◆



2011年3月11日の東日本大震災の発生を受け、米軍と自衛隊は「トモダチ作戦」を通じて東北地方への緊急人道救援活動で協力し、成功を収めました。この時の協力と友情の精神を基盤に、米国と日本はTOMODACHIを開始しました。これは両国政府のみならず、経済界、学識経験者、市民団体、著名スポーツ選手や芸能人を含む日本と米国の社会同士のパートナーシップです。TOMODACHIは米国政府および米日カウンシル（米国の非営利公益法人）が主導し、日本政府から支援を受けています。

ウェブサイト：<http://usjapantomodachi.org/>

【関係者問い合わせ先】一般財団法人教育支援グローバル基金  
 担当：阪本 TEL：090-6964-3033  
 e-mail：[info@beyond-tomorrow.org](mailto:info@beyond-tomorrow.org)

以上

\*\*\* 事業名「ビヨンドトゥモロー」には、「明日を超えて」という訳の通り、中長期的な視野から未来を担う人材の育成を願う意味がこめられています \*\*\*